

ゼミにおけるリエゾンポートフォリオの活用推奨とコメント記入のお願い

本学では、2011年度より学修ポートフォリオを導入し、2013年度より Web 化を行い、「リエゾンポートフォリオ」と名づけて運用しています。

ゼミ担当教員におきましては、以下に目を通していただき、ゼミ受講学生に活用を推奨いただくとともに、コメントの記入にご協力をいただきますよう、お願い致します。

1. リエゾンポートフォリオとは

リエゾンポートフォリオには、授業やゼミなどの学修経験や、サークル、ボランティアなど課外活動などの記録のほか、学士力や社会人基礎力等の観点から自己の達成度について確認・評価した結果が、Web サービス学生支援システム「ユニバーサル・パスポート」の「マイステップ」に分類され、保管されています。**Web テキスト「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」の1章8節「web 版マイステップ・リエゾンポートフォリオを活用しよう」**をご覧ください。

このポートフォリオを作成するうえで、「省察（振り返り）」、「証拠資料」、そして「共同作業」の3要素が重要であるといわれています。特に鍵となる省察の過程では、学習者の気づきや成長を喚起させるようなメンターからの問いかけや助言などの共同作業が欠かせません。



このマイステップには、「コメント機能」と呼ばれる個々の学生の学修プロセスや成果が見える形で、担当教員と学生が互いに確認できる仕組みがあります。従来からのコミュニケーションタイム等を利用した修学生活指導に加え、このコメント機能を活用することで学生一人一人の学修経験や学内・外の活動をより詳細に把握し、やりっ放しで終わることなく計画、実行、確認、改善のサイクルの促進につながります。

なお、リエゾンポートフォリオは、次年度以降のゼミ教員に引き継がれます。もし、記載したコメントの引き継がれたくない場合は、学生に知らせた上で、年度末に削除をお願い致します。

<学生の未来に役立つリエゾンポートフォリオづくりの支援と活用のポイント>

- ① 学生がリエゾンポートフォリオに記録・蓄積する習慣づけ
 - ⇒定期的（活動終了時や学期末などの節目に）な入力確認の促し
 - ⇒発表資料や提出レポートなど「知の成果物」のアップロードの促し
- ② リエゾンポートフォリオを活用した修学生活指導の実践
 - ⇒ゼミ学生の面談時に、記載内容を参照しながら修学生活指導
 - ⇒コメント機能を活用した賞賛、助言など（客観的評価）

2. リエゾンポートフォリオに記録・蓄積する習慣づけを図るには

「青字はステップ名称」

1) 授業の場面

- 授業や各種セミナー、研修会などで何を学び、何を考えたかの文章化を促す
 - 「ア. 多文化・異文化に関する分野」、「イ. 人類の文化、社会と自然に関する分野」、「ウ. 専攻する特定の学問分野」
- 課題として提出したレポート、プレゼン資料などをアップロードし、評価コメントや改善点などの文章化を促す
 - 「エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等」

2) 各種学外・課外活動の場面

- 活動内容の振り返りを文章化するよう促す
 - 「オ-1. 学外活動（課外活動、アルバイト、ボランティア活動など）」、「オ-2. 絆体験・チャレンジ体験」
- 活動の様子やポスター、制作物のデータ、写真などの証拠資料のアップロードを促す
 - 「エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等」

3) 学期末・学年末

- 「1. 学士力判定」や「2. 社会人基礎力判定」などの各種達成度評価
- 「6.1. GPA-TFU 版 2014（成績判定・学習振り返り）」、「カ. 現状の課題と目標」

3. リエゾンポートフォリオを活用した修学生活指導

- 「0.1 自己紹介シート」、「0.2 進路希望シート」、「7.学修行動チェック」、「8.履修登録チェック」
- 各ステップ最下段に設けられている「コメント機能」の活用
- ※「自己紹介シート」「進路希望シート」はキャリア教育の一環です。年度初めに活用します。
- ※「学修行動チェック」は、学修時間と学修行動の振り返りと向上を目的としています。
- ※「履修登録チェック」は、登録ミスを防ぐことを目的としています。履修登録時に活用します。

<記載例> 「1. 学士力判定」の記載内容に対するコメント入力例

学士力の総合的活用	<input type="radio"/> 全くそう思わない <input type="radio"/> そう思わない <input checked="" type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> 非常にそう思う		
視野の拡大	<input type="radio"/> 全くそう思わない <input type="radio"/> そう思わない <input checked="" type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> 非常にそう思う		
問題解決の過程	<input type="radio"/> 全くそう思わない <input type="radio"/> そう思わない <input type="radio"/> あまりそう思わない <input checked="" type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> 非常にそう思う		
自由記載欄	サークルやアルバイトなど、他の生徒達が行っているようなことを実行していないため、同学科、同学年の人としかあまり交流がない。 将来に向けて、必要な資格は理解しているが、受験はしていない。 また、授業で行われているプレゼンテーションでは、率先してグループ学習に取り組もうとしている。 これらのことから、私は授業以外のことは自主的に物事に取り組んでいないことがわかる。 2年次からは、自主的に取り組むようにしたい。		

[削除](#)

登録日時	2014/03/07 10:31	登録者	担当教員名
コメント	グループ学習など率先して取り組んでいる姿が強く印象に残りました。ポスター発表での最優秀賞にも大きく貢献しました。カルタ取りもお見事でしたね。2年次には課外活動も多く経験して、 さんの意見を主張し、良い方向に周囲を巻き込んで、力を自分の強みと捉え、さらに高めてください。		

[コメント編集](#) [コメント削除](#)

[コメント追加](#)

CSV印刷にコメントを含む [CSV出力](#) [印刷](#) [戻る](#)

<参考> Web型ポートフォリオの感想

本学の学生では、以下のような感想が見られます。

- ・達成度がグラフ表示されることで、自分の全体の中での位置づけと成長を実感できた。
- ・学習をふり返り、目標を定めることで、学習への意欲が高まった。
- ・ゼミ教員にコメントをもらおうと、うれしい。がんばろうという気持ちになった。
- ・履修登録でミスをするところを、防ぐことができた。

ゼミ教員からは、以下のような感想が寄せられています。

- ・前期と後期の最初のゼミ時間に活用している。学生も節目にあたってのふり返りになり、スタートのいい刺激となっているようです。
- ・ゼミ学生の学習状況や活動状況を把握でき、学生の考えていることや気持ちを理解でき、ゼミ学生との交流が高まりました。ゼミ学生の指導もスムーズになりました。
- ・コメントへの入力忙しいときは大変ですが、読んだことだけでも記載すると、学生には励みとなるようです。
- ・履修登録ミスがあり、年度末に愕然とする学生が毎年のようにいましたが、履修登録チェックの活用を勧めたところ、履修登録ミスをする学生が減りました。
- ・「進路希望シート」により自分のキャリア形成を考えるようになり、コミュニケーションタイムに相談にもきました。

また、参考までに、金沢工業大学における学生の感想例を挙げます。

- ①自分の行動を振り返り、次の学年での目標を明確にする手助けになったように思う。また、高校まではあまり文章を書くことがなかったが、文章を多く書く練習にもなったと思う。
 - ②達成度ポートフォリオを利用してよかった点は、1年の総括を行い、来年度からの修学に役立てることができたことである。私は資格取得を目指していたが、1年次には受験をしなかった。その反省をもとに、2年次では、基本情報技術者資格の取得を目指し取得することができた。これは、達成度ポートフォリオからの反省により、目標を設定できたということだろう。
 - ③他のレポート課題と同じように、文章を考える訓練にはなった。実際、各学期の回顧と展望を比べてみると、学期が進むごとに文字数が増えている。加えて、反省と改善の提示の訓練でもあった。達成度ポートフォリオは提出課題であるため、強制的に反省と改善の提示を捻り出さなければいけない。つまり、考えずには先に進めないのである。これが1年間続くことによって習慣になる。これは周りの友人の会話からも伺える。例えば学期終了時に感想を求めると、なぜか反省とその改善点が示される。これは私にも当てはまることで、ポートフォリオの威力を実感する体験であった。
 - ④毎年の進路について自分が行った行動やその時の進路に関する考え方を振り返ることができるのでよかった。また、考えるだけでは忘れてしまうことが多いが、それを記入して保存することができるため、過去と現在の進路に関する考え方を比較することができるので、さらに考えが深まってよいと思う。
- ・今、というより4年次にこの時の記録が役に立つと思う。
 - ・自分の過去、現在をふり振り返り、未来への目標というものが少し見えてきた。
 - ・自分の過去を振り返り未来を考えるとということを知らなかった自分を見つけさせ、新たな私をつくりだすもとなったところが、良かった点だと考えています。

引用：<http://www.kanazawa-it.ac.jp/about/pdf/gp18t/5.pdf>